

# 建築甲子園準優勝の 横須賀工業高を表彰

神奈川十会



左から上原会長、國島教諭、菊池さん、濱田さん

## 「やすらぎ」生まれる場を提案

神奈川県建築士会（上原伸一会長）は、第13回（2022年）高校生の「建築甲子園」神奈川県大会で準優勝に輝いた県立横須賀工業高校建設科1年生の菊池拓海さんと濱田真里さんを表彰した。2人がグループで応募した作品タイトルは「海風感じる木目のやすらぎ」公園で地域の交流活性化！コミュニティスペースの提案」。横須賀市平成町にあるうみかぜ公園の敷地内に、天候に左右されず多くの人が訪れる「やすらぎ」が生まれる場を提案した。

19日に同校を訪ね、表彰状を手渡した上原会長は「この作品は場所の設定などが高く評価された。要求にも的確に応えている」とした。その上で「公園内にあるので、内外の空間を一体化する提案などがあっても良かった。若者にしかできない発想で夢のある提案に挑戦してほしい」とアドバイスした。菊池さんは「初めて挑戦して準優勝をいただき大変うれしい。自分の考えを広げて来年はもっと上を狙っていきたい」と意気込んだ。濱田さんは「優勝しなかったので悔しい。来年はもっと自分の考えを出していきたい」と再挑戦を誓った。

同校の建設科は4月に新設した。23年4月には建設科の新実習棟が完成する。監督した國島かほり教諭は「第一期生が県内準優勝を受賞できたことを心から喜んでいる。今後も生徒の声に耳を傾け、やる気を引き出していきたい」と語った。

宍戸健一校長は「準優勝で建設科の躍進に弾みをつけてくれた」とし、2人のさらなる活躍に期待を込めた。

